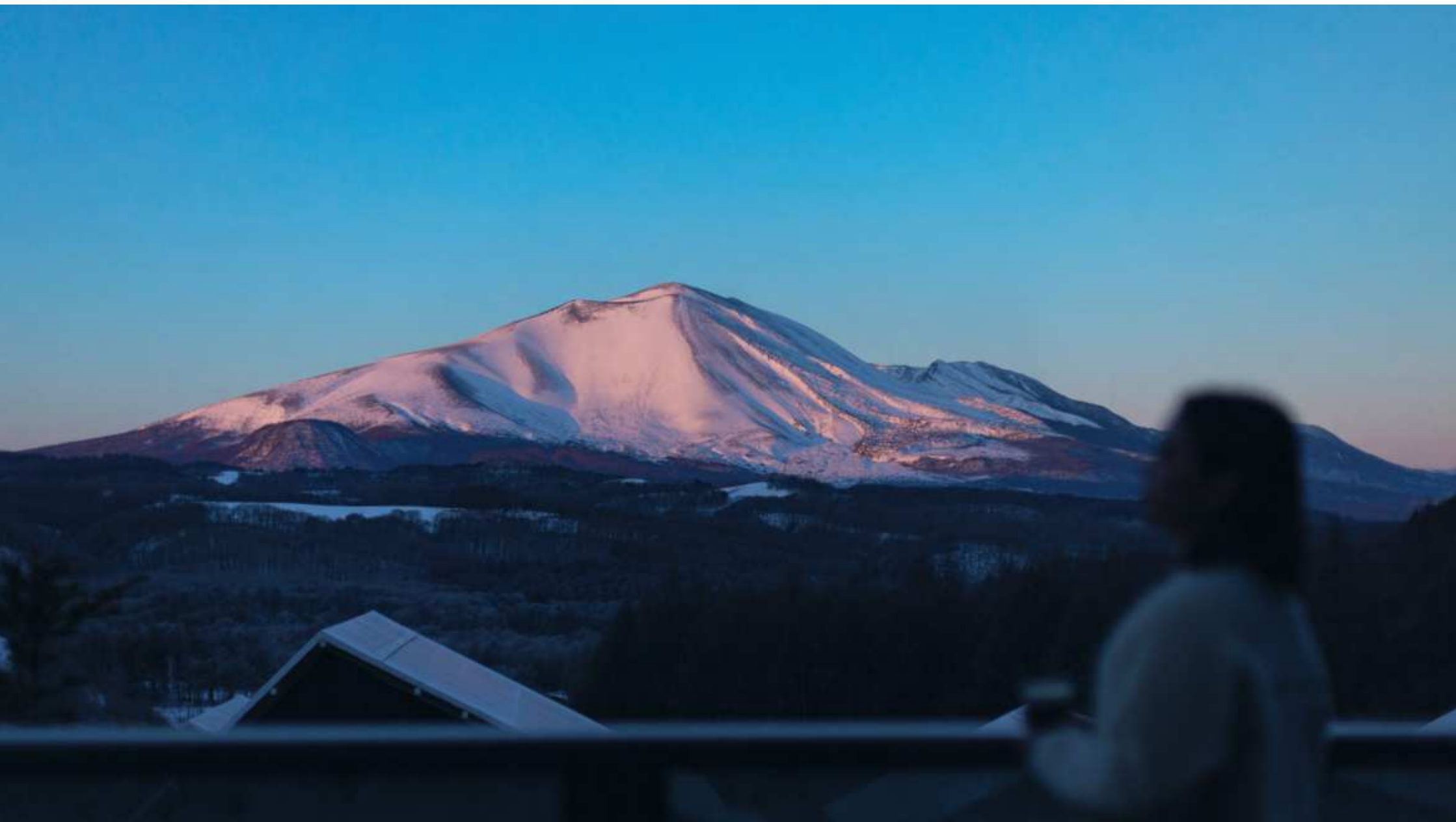


北軽井沢の自然と、人々の想いが育てた5年間の記録



FIFTH SEASON



風の音、木々を揺らす雨、浅間山を染める朝焼け

この場所には、季節ごとに異なる静けさがあります



自然とともに過ごす時間、大切な人と向き合う時間

たくさんの記憶に支えられ、5周年を迎えることができました

四季の気配、五感の記憶

Seasons of Light

浅間山の麓で移ろう季節。
風の音、雨の匂い、薪のぬくもり。
朝霧に包まれる森、満天の星空。
北軽井沢の自然が、
五感の記憶として残っていく。



春

芽吹きの手が、森を満たしていく



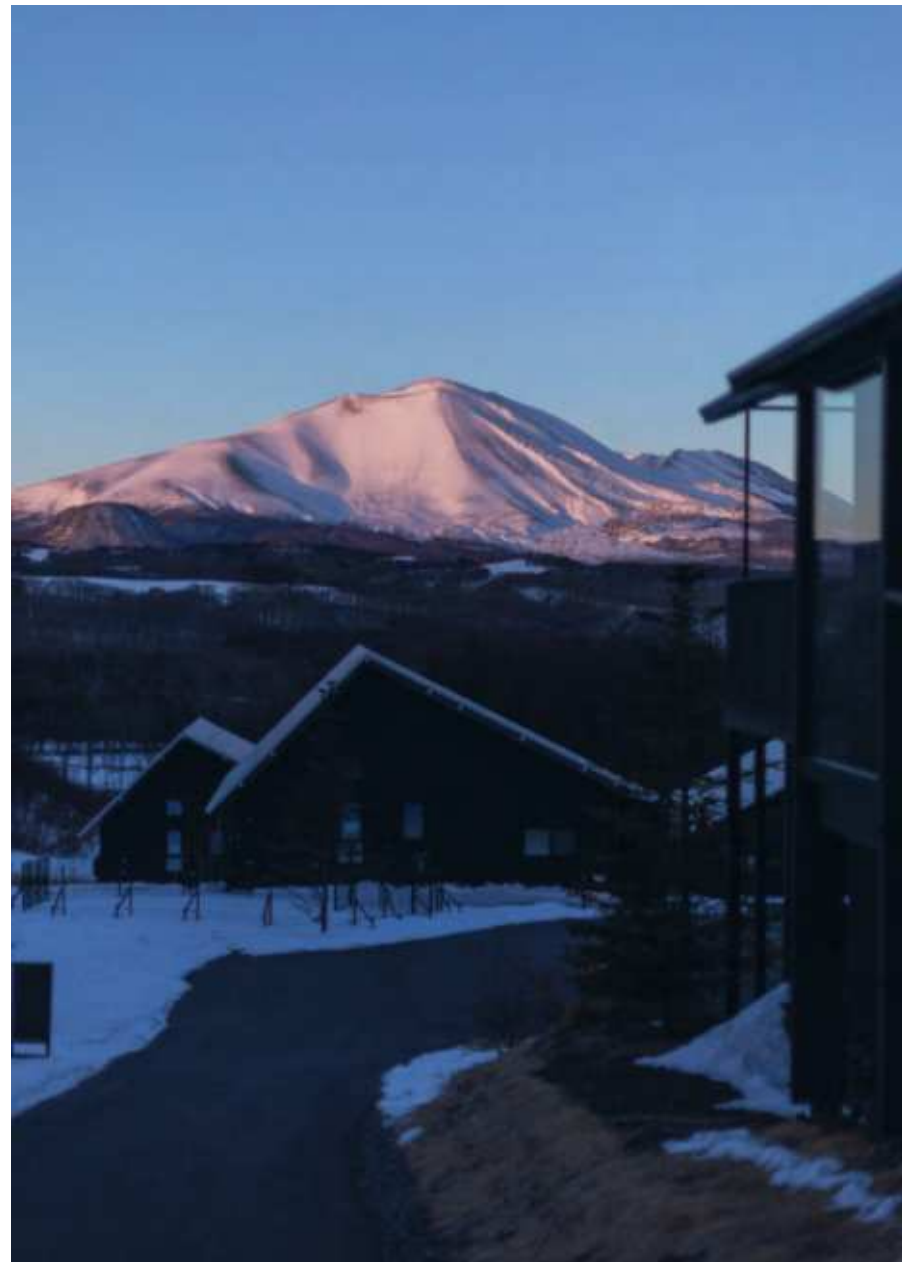
夏

空と森に包まれ、季節の息吹を感じる



秋

色づく森が、季節の深まりを知らせてくれる



冬

白銀に包まれた朝、世界が少しだけ静かになる

Interview 01

Yuuki Tadokoro

Profile

トラベルフォトグラファー・ジャーナリスト。風景や空間に流れる光と時間を捉え、静けさや余白を感じさせる写真を手がける。インド綿を用いたサステナブルファッションブランド「TADO」も展開。



01. 「はじめてあさま空山望を訪れたとき、どのような印象を持たれましたか。

軽井沢周辺とは違って落ち着いていて、山深さに思わず深呼吸したくなる景観が素敵だと感じた。

02. あさま空山望で過ごす中で、思わず写真に残したくなるような瞬間はどのようなときでしょうか。

四季折々に変化する自然に太陽の光が差し、色が美しく現れる瞬間。

03. 「あさま空山望」の特にここがいい、という点があれば教えてください。

プライベートが確保されたヴィラスタイル



浅間を仰ぎ、自然に還る空間

Quiet Harmony

木、石、火、光。
自然に寄り添うように設計された空間。
窓の向こうに広がる浅間山の景色が、
訪れる人の呼吸をゆっくりと整える。



木、石、火、光。自然素材の静かな存在感が、呼吸を整えていく

POLARIS



SIRIUS



CASSIOPEIA



柔らかな朝の光が、ヴィラをやさしく包み込む



何もしない贅沢に、心がゆっくりと満たされる



窓の向こうの自然と、穏やかにつながる場所



浅間山を望みながら、心と身体を解きほぐしていく



景色と料理、人と時間がゆるやかに重なり合う場所
一皿一皿が、この土地の季節を映し出していく

Interview 02

コマタモコ | Tomoko Komata

Profile

インテリアデザイナー。自然や素材を活かし、静けさと心地よさを引き出す空間設計で有名。あさま空山望を手がける。iF Design Award 2026、Andrew Martin Interior Design Awards 受賞など国際的に高い評価を受ける。

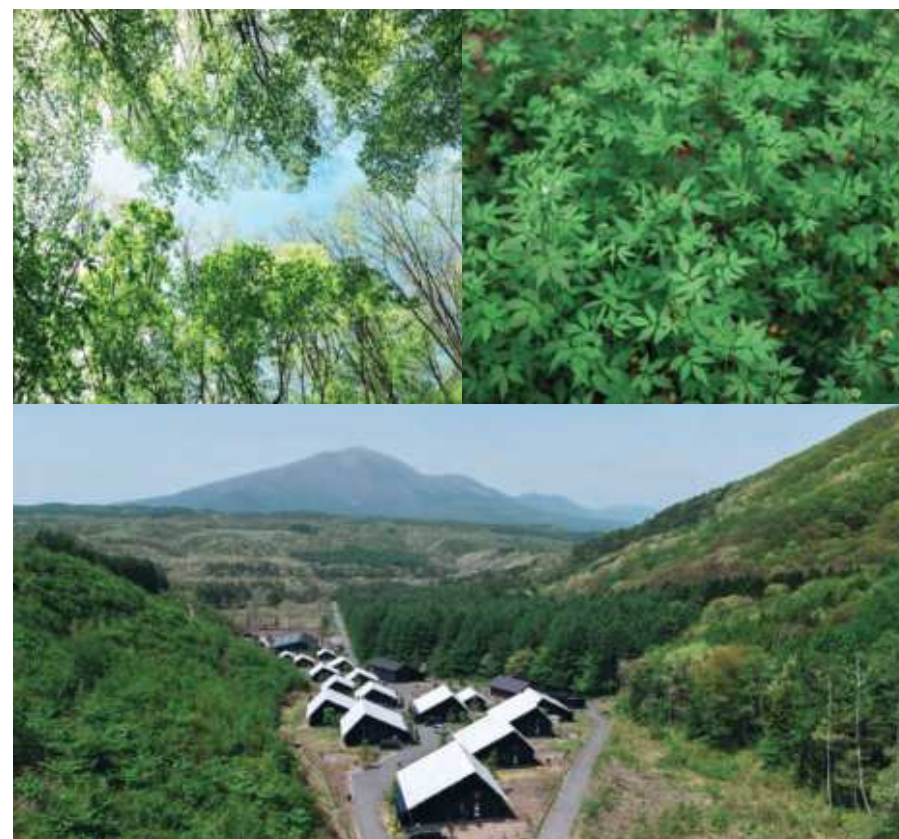


01.「人が心地よく過ごせる場所」をつくるために大切にされていることは何でしょうか。

人間は自然の一部なので、デザインする空間は自然との関係を大切に考えます。空間は人工物ですが、外部と内部の関係、自然の採光、自然の色彩、仕上げる素材、回遊導線、などに自然を感じる要素を大切に取り込む事により「人が心地よく過ごせる場所」として創造できると考えています。

02.「あさま空山望」の空間において意識された点があれば教えてください。

あさま空山望は、浅間山の素晴らしい絶景があり、この場所の主役は自然です。テント生地の屋根のヴィラは、人が自然と一体感を感じる空間であり、色彩や素材は自然を感じるニュートラルなもの、デザインは装飾のないミニマルなもの、を心がけました。



集い、分かち合うとき

Shared Moments

大切な人と囲む食卓。
祝福の声、夜空に広がる花火。
語り合い、笑い合うひとときが、
人生の記憶として積み重なっていく。



笑い声や会話が、静かな夜に溶け込んでいく



澄んだ空気と水に育まれた、北軽井沢の恵み



雄大な浅間山の景色とともに、一日が始まる



暮れゆく空を眺めながら、一日の余韻を味わう



大切な人と過ごすひとときが、旅の思い出を特別なものにする



忘れられない約束は、忘れられない景色の中で



人生の節目となる時間が、この場所で積み重なる



夜空に広がる光が、その日の記憶を鮮やかに残していく

Interview 03

Chihiro

Profile

主にインフルエンサーとして活動し、多くの女性から支持を集める。絵本の出版やアパレルブランドとのコラボレーションなど幅広く活動し、家族との日常や、自分らしく楽しむライフスタイルを発信している。



01. 普段の生活やお仕事の中で、Chihiro 様が大切にしている価値観や時間はどのようなものですか。

忙しい毎日の中でも、「自分らしくいられる時間」を大切にしています。仕事も育児も全力で向き合いながら、ふと一息つける時間や、自分を整える美容やファッションの時間も大事にしています。

02. はじめてあさま空山望を訪れたとき、どのような印象を持たれましたか。

はじめて訪れたとき、お部屋のラグジュアリーさはもちろん、目の前に広がる浅間山の景色と、空の広さに思わず見惚れてしまいました。

自然に囲まれた空間がとても心地よくて、普段のバタバタした日常を忘れて、心からリラックスできる場所だと感じたのが印象的です。



03. ご家族であさま空山望に滞在された際、印象に残っている時間や、お子さまとのエピソードがあれば教えてください。

滞在中に思いがけず大雪が降り、娘と一緒に夢中で雪遊びをした時間がとても印象に残っています。日常ではなかなか味わえない特別な時間を家族で過ごせて、すごく心に残る思い出になりました。

さらに、雪景色もとても美しく、非日常のような空間に癒されたのも印象的です。また、愛犬も一緒に過ごせる空間だったことも魅力的で、家族みんなでリラックスできたのが嬉しかったです。

04. 5周年を迎えるあさま空山望へ、メッセージをお願いします。

5周年おめでとうございます。自然に囲まれた特別な空間で、心からリラックスできる時間を過ごせる場所として、これからも多くの方に愛され続ける存在であり続けてほしいと思います。

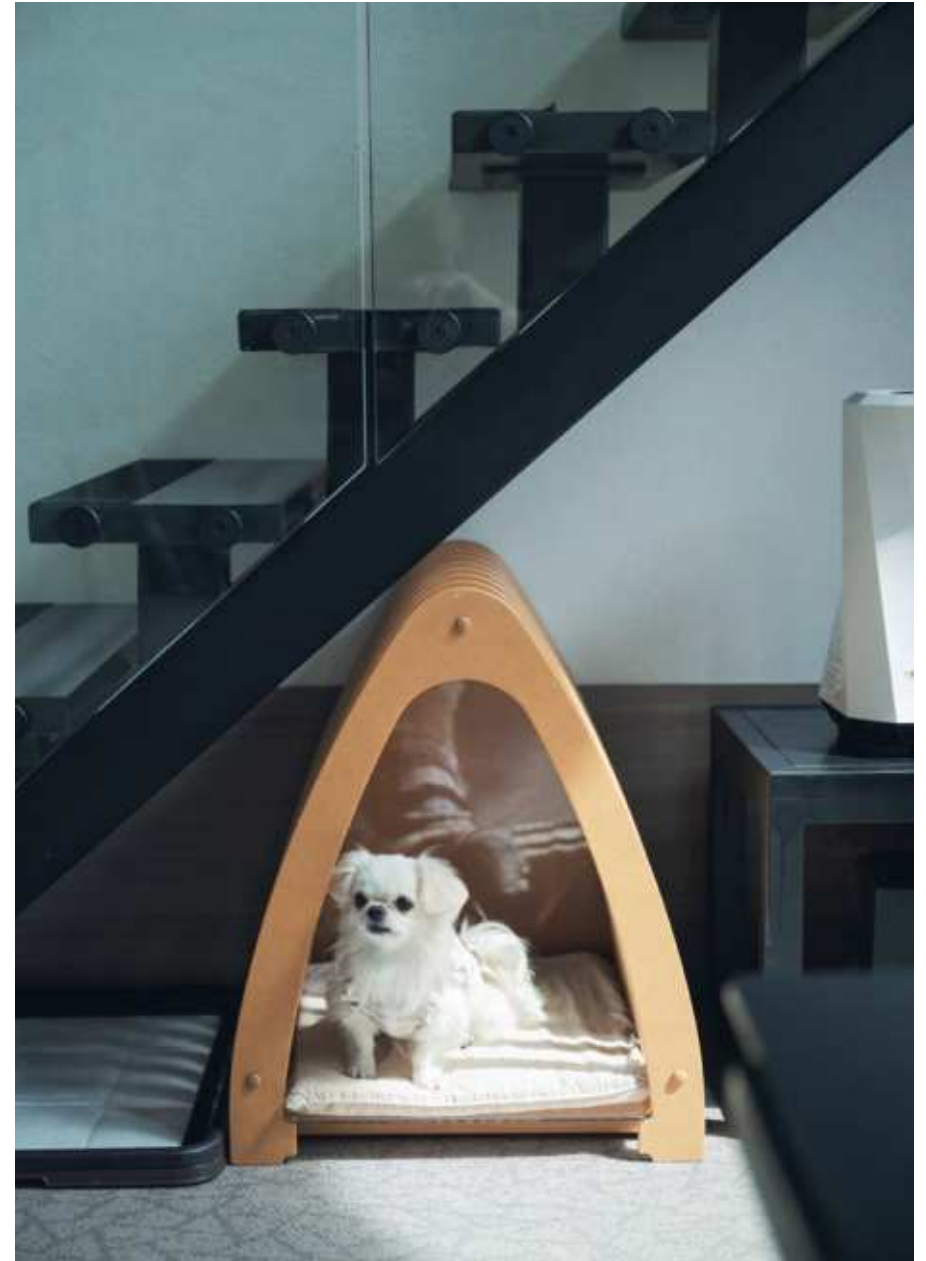
05. 「あさま空山望」の特にここが好き、という点があれば教えてください。

絶景のロケーション（浅間山ビュー）
食事の質や内容
わんちゃんと過ごせる

ともに在る

Being Together

森を歩き、風を感じ、同じ景色を見つめる。
愛犬とともに過ごす時間は、
何気ない瞬間を少しだけ特別なものに
変えてくれる。
自然のなかで深まる絆が、
これからの時間を紡いでいく。



同じ風を感じ、同じ景色を見つめる



その先の景色も、きっと一緒に

Interview 04

荒井桃子 | Momoko Arai

Profile

ヴァイオリニスト。犬と音楽を愛し、繊細かつ温かみのある音色で多くの人を魅了する。現在までオリジナルアルバム3枚をリリース、「空山望」「LINO」等の楽曲で知られ、自然や空間と響き合う演奏を大切にしている。



01. 普段の生活やお仕事の中で、荒井様が大切にしている価値観や時間はどのようなものですか。
朝の時間を大事にしています。
愛犬と散歩をしカフェでひと休みする時間が良い一日を始める毎朝のルーティンです。朝の新しい空気を吸い心身を整わせる私にとって、とても大事な時間です。

02. はじめてあさま空山望を訪れたとき、どのような印象を持たれましたか。
大自然の中に身を置き、鳥のさえずりで朝を迎えたことに感動しました。自然と早くに目が覚めとても気持ちの良い目覚めでした。良い意味で何もすることがないという環境がとても贅沢で、自然に身を任せ過ごしていると心身から毒素がぬけ、元気になっていく感覚があります。一瞬にしてあさま空山望の虜になりました。



03. 「あさま空山望」の特にここが好き、という点があれば教えてください。
自然に囲まれた場所で演奏していると、鳥の声や虫の声も聞こえてきます。それも音楽になります。
私はお客様のお顔もよく見えますが、ワンちゃんの顔はもっと見ます（笑）
初めて聞く音に首を傾げたり、拍手の場面ではワンワン！と盛り上げてくれたり、気持ちよくて寝てしまうワンちゃんも。
普段のコンサートでは得られないこのような可愛らしい仕草にとっても癒されます。
飼主さんもワンちゃんの普段しない仕草を見て楽しんで聴いてくださり、皆さんにとって良い思い出ができますように……と、この愛犬と楽しむコンサートシリーズではいつも願っています。

04. 5周年を迎えるあさま空山望へ、メッセージをお願いします。
5周年おめでとうございます！
素晴らしい環境、美味しい食事、ホスピタリティに毎回感動します。これからも人々を癒す素晴らしい場所であり続けてください！これからも大好きな場所です。おめでとうございます！

05. 自然に囲まれた場所で、またわんちゃんと演奏することは、ホールでの演奏と比べてどのような違いがありますか。
プライベートが確保されたヴィラスタイル
食事の質や内容
わんちゃんと過ごせる

自然と美の境界

Art in Nature

花、色彩、光、静寂。
自然と響き合いながら生まれる表現。
この場所で過ごした時間と
そこで生まれた感情が作品となり、
あさま空山望の風景と調和する。



季節の花々が、北軽井沢の自然と静かに呼応する

Interview 05

興柁優護 | Yugo Kohrogi

Profile

画家 1982年熊本生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。光の揺らぎや色彩の移ろいをテーマに、日常や自然の中に潜む繊細な美を描くアーティスト。国内各地で個展・グループ展を開催し、2025年には福岡アートアワード優秀賞を受賞。自然との対話から生まれる作品は、静かで豊かな余韻をたたえている。2026年4月には第1回アートインレジデンスプログラムに選出され、あさま空山望にて1カ月間の制作活動を行った。



のですが、雨が降ることで大気が移行し、雲がダイナミックに移動しながら形を変えて行く様など、とても美しく感じました。また、前日が雨の日の朝方には、施設から見える浅間山の麓に雲海がかかる様子も見ることができ、循環する自然の姿に圧倒されました。

03. 今回展示される作品『Λ 01』について、テーマや見どころを教えてください。

「ラムダ」で変換すると出てくるといいます。山を想起させる記号ということと、物理学では波長を意味することから、色彩のグラデーション（光の波長）を扱っている作品のタイトルとして選びました。今後このシリーズが増えて行くと『Λ 02』、『Λ 03』となっていくと思います。

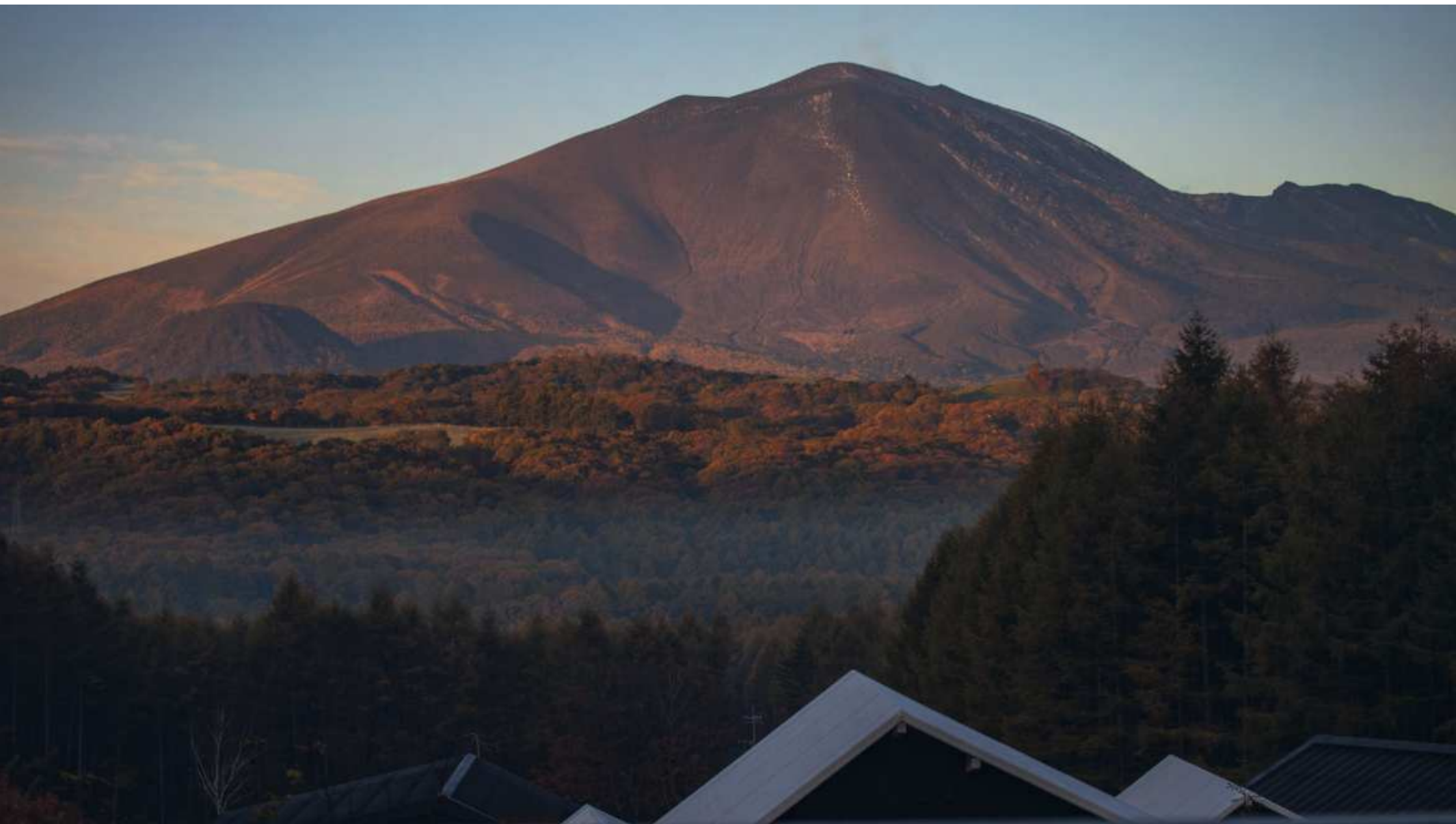
01. あさま空山望での約1カ月間を、どのように過ごされましたか。

生活の雑多なことからなるべく身を置いて、自分自身を内省的に見つめる機会にしたいと思い、毎日を過ごしました。また、周辺の地域の文化や風俗・土地性など、浅間山を起点としてリサーチに取り組み、作品へ還元することを試みました。

02. 滞在中に印象に残った景色や瞬間があれば教えてください。

今回、浅間山の日の入り・日没を観察するという工程を、ルーティンとして毎日行いました。最初は、雨が降ると色彩の変化が出ず、ハズレのように感じていた

あさま空山望の丘の上にある「天空の道」から見える、朝日や夕暮れをモチーフとして描きました。毎日眺めていても同じ色彩や雲の表情はなく、常に移り変わり調子が変わっていく様に、自分自身の色彩感覚が広がったように感じます。約1万～2万年前、浅間山周辺は巨大な湖だったようですが、常に緩やかに変化していくものが大地であり、この世界なのだと思います。太古の昔に誰かが感じた夕暮れの美しさと、今回の滞在を通して私が感じた感動を、この作品を通してまた違う誰かと共有することができると嬉しいです。



景色は少しずつ表情を変え

この場所で過ごした時間や記憶は、心の中で穏やかに息づいていく

また、季節が巡る頃に